

助産師に取材しました。



きよときあや 清時彩さん

(助産師・思春期保健相談士・マザーズハートカウンセラー)

姫路市での産科病棟勤務、赤ちゃん訪問事業などを経て2021年に香川県に転居。現在は「いろ助産院」を開業し、性教育講座やベビーマッサージ教室などを行っている。

Q1 性教育は何歳から始めるべきでしょうか？

※「国際セクシュアリティ教育ガイドランス」では5歳からとなっています

ることが大切だと思います。

また、性教育は「一度教えたから大丈夫」ではなく、何度も伝えていくことが大切です。

例えば、プライベートゾーンを学んだ子どもが、お風呂から裸で出てきた時には「言ったでしょ！」と怒るのではなく、「何が大事だった？」と聞いてあげてください。怒ることで一時的な抑制力がありますが、問題の解決にはなりません。質問することによって、子どもは「あっ！」と自分で気づくことができます。親子の日常の関わりの中で何度も対話を繰り返すことで、知識が経験として定着します。自分の心と身体は大切であるという価値観を得るために、家庭の中だからこそ伝えられることがたくさんあると思います。

※国際セクシュアリティ教育ガイドランス：性教育をすすめていくうえで世界のスタンダードとして定評のある手引き。「性と人間関係」についての包括的な学びを提供しています。

プライベートゾーン・性教育に関するおすすめの絵本



だいたいどーこだ？
著者 えんみ さきこ
出版社 大泉書店

「だいたいどーこだ？」をキーワードに、体だけではなく、一人ひとりの存在が大切であることを学べます。後半には、ぜひ大人の方に読んでほしい知識ページもあります。

【所蔵館：中央図書館・飯山図書館・綾歌図書館・移動図書館車（かめまる号）】



アイラブミー じぶんをたいせつにするえほん
著者 たけむら たけし
出版社 新潮社

NHK Eテレで放送されている人気アニメ「アイラブミー」の主人公「ミー」の体験を通して、自分の心と体について知り、「自分を自分を大事にすること」を学べます。

【所蔵館：中央図書館】



じぶんのからだはどんなからだ？
監修 田代美江子
出版社 金の星社

一人ひとり違う大切な体であること、子どもから大人の体への成長や体の部位の名前、体の洗い方、そして「体の権利」について分かりやすく学べます。

【所蔵館：中央図書館・飯山図書館】



ようこそ 子どものけんりのほん
著者 えがしら みちこ、
子どもの権利・
きもちプロジェクト
出版社 白泉社

「自分の気持ちを言う権利」や「意見を聞いてもらえる権利」など、子どもと子どもに異なる大人が知っておくべき「子どもの権利」について学ぶことができます。

【所蔵館：中央図書館・飯山図書館・綾歌図書館】

が、オランダでは0歳からと言われています。性教育を教えるのに遅すぎる、早すぎるといふことはありません。0歳から目を見て話す、愛着形成を土台として築いていくということ自体が包括的性教育だと考えています。

Q2 性について話すことで、子どもに悪影響を及ぼさないか心配です。

「国際セクシュアリティ教育ガイドランス」のデータによると、性教育を行うことによって、性に対して奔放にならない、慎重になるといふことが分かっています。

今の時代、子どもはインターネットなどを使って自分で性について調べることが出来ます。しかし、子どもだけで調べると、正しい情報ではなく、商品化された性や欲求を満たすためのコンテンツに繋がってしまいます。

実際は、相手の意思を尊重して同意を得ることが大切なのに、そこで間違った情報を学んでしまうことによって

て、お互いを傷つけることに繋がりが、本当の意味で性について学ぶことができません。

間違った情報を得る前に、性について科学的に正しい知識を持ち、自分を守るためにはどのような手段があるのかを知るために、包括的性教育を行うことが大切です。

Q3 性教育をすすめる上で、大切なポイントはありますか？

科学的に正しい知識を伝えること、そして「嘘をつかない」「怒らない」「ごまかさない」ことです。

自分の身体に興味を持ったり、自分と他者との違いに興味を持ち始める時など、子どもが「性について知りたい」と思うきっかけが必ずあります。その時、どうしてそう思ったのか子どもの気持ちに寄り添うことがとても大事です。そこから、今何に興味を持っていて、何が知りたいのかということをより具体化して、必要な内容を届け